

平成27年9月

関東・東北豪雨における東北地方整備局の対応について

企画部防災課

1. 気象概要

9月7日に発生した台風18号や前線の影響により、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となりました。特に、9月9日から11日にかけて、台風第18号から変わった温帯低気圧に向けて南から流れ込む湿った風と、日本の東海上を北上していた台風第17号から流れ込む湿った風の影響により、線状降水帯が次々と発生したことにより関東地方と東北地方で記録的な大雨となりました。

東北地方では、福島県において9日から10日にかけて会津地方を中心に、宮城県において10日夜から11日朝にかけて記録的な大雨となり、

11日3:20に宮城県に大雨特別警報※1が発表されました(11日19:30解除)。

※1 東北管内では初めての発令
宮城県の鳴瀬川流域の鳴瀬川及び吉田川では水位観測所15観測所のうち、12観測所において観測史上第1位を記録しています。

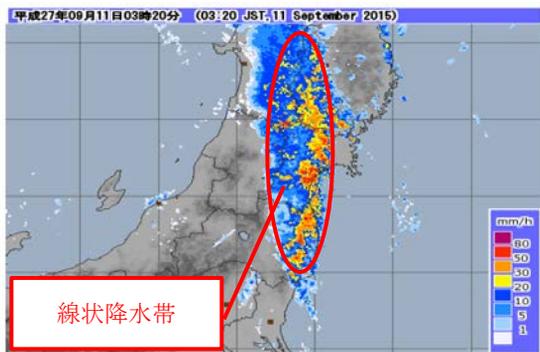
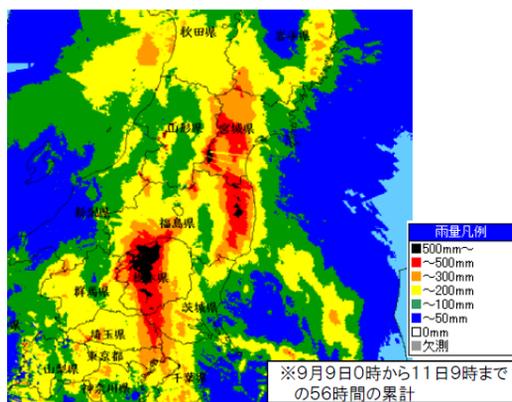


図1 累加レーダー雨量
及び線状降水帯発生状況

(出典：気象庁)



図2 鳴瀬川流域被災箇所位置図

2. 被災概要

11日明け方には直轄河川では、はん濫危険水位を超えた河川が4河川となり、そのうち吉田川及び善川(共に宮城県大崎市)において、堤防を越えて氾濫する「越水」により周辺の家屋等が浸水するなどの被害が生じました。県管理河川では、渋井川(宮城県大崎市)において堤防が決壊し、周辺の多くの家屋が浸水するなど大きな被害が生じました。また、直轄道路においても国道4号、45号、48号などで土砂崩落や路面冠水による全面通行止め等が生じました。

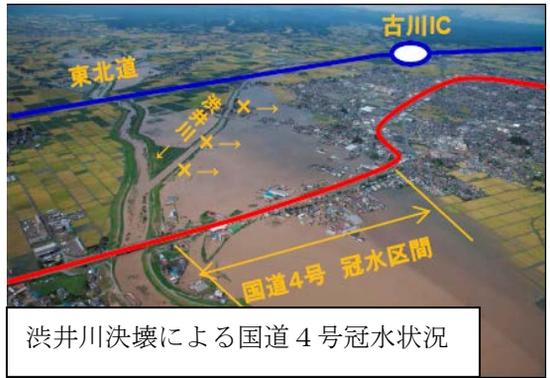
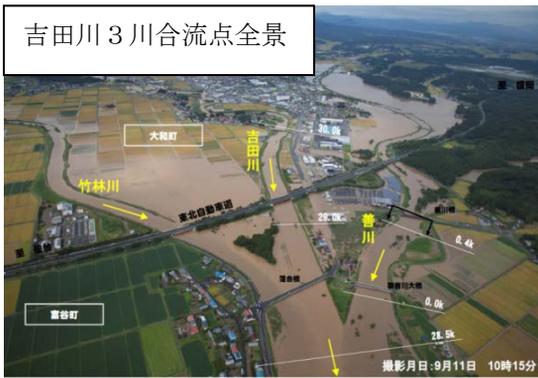


写真1 被災状況

3. 整備局の対応

大雨により重大な被害が発生する恐れがあることから、東北地整災害対策本部は11日2:50に『非常体制』(平成25年9月台風第18号による風水害以来2年ぶり)を発令し対応にあたりました。

本部では、東北地整本部会議(4回)及び本省とのTV会議(1回)を実施し、被災状況、対応方針の情報共有を図りました。

また、地域からの支援要請等を迅速に把握するため、9日から16日までリエゾン(緊急災害情報連絡員)を1県3市4町へ延べ31人派遣しています。

堤防が決壊した渋井川(宮城県大崎市)においては、浸水被害を早期に軽減するため、北海道開発局・北陸地整・中部地整からの支援*2を



写真2 本部会議状況 (局長訓示)



【写真3 リエゾン活動状況】

上段：町からの状況説明（宮城県大和町）
下段：市対策本部会議への出席（宮城県大崎市）

受けて、排水ポンプ車を配備し、14日17:00までに排水作業を完了させることができました（渋井川を含め鳴瀬川水系では11日時点で約5,800ha浸水）。

※2 他地整からの受援は東日本大震災以来また、これに伴う冠水により、国道4号において11日5:30より全面通行止めが生じていましたが、12日13:00に規制解除することができました。

決壊した堤防の復旧については、宮城県からの要請を受け、東北地整において12日10:00より仮復旧工事に着手し、24時間体制での復旧作業を行い、16日7:00までに工事を完了させることができました。

さらに、福島県南会津町からの要請を受け、13日から15日にかけてTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)5名を派遣し、町道の法面崩壊、落橋等の被害状況調査を実施しました。



写真4 排水状況



写真5 仮復旧状況



写真6 被災状況調査

4. 災害を振り返って

今回の災害において2年ぶりの非常体制となったにもかかわらず、各担当者が初動対応から適切かつ迅速な対応ができたことは、日頃の訓練のたまものであり、訓練の必要性を改めて認識したところです。

また、吉田川において堤防を越水し決壊の危険性があったものの、決壊を免れたことは日頃の維持管理の結果であり、その重要性も再認識したところです。

更に、決壊した渋井川の復旧や南会津町での被災状況調査など、地域からの要請があった事は、東北地整が保有する技術力や装備に対する期待の表れと感じており、今後も継続的に備えをしていくことが重要であると考えています。

最後に、今回の災害においても防災エキスパートの方を災害対応等の支援のため、出張所及び現地へ派遣していただいております。災害対応及び復旧方針等の策定に当たり有効な助言を頂き、感謝しております。今後とも、防災エキスパートの皆様には引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

東北地方整備局からのお知らせ

◇新庁舎移転

東北地方整備局は11月24日に104年間業務を行った二日町庁舎から勾当台公園東側に移転しました。防災課は11階、災害対策室は12階となっております。

■移転先

〒980-8602
宮城県仙台市青葉区本町3-3-1
仙台合同庁舎B棟 7階から14階
電話022-225-2171(代表)



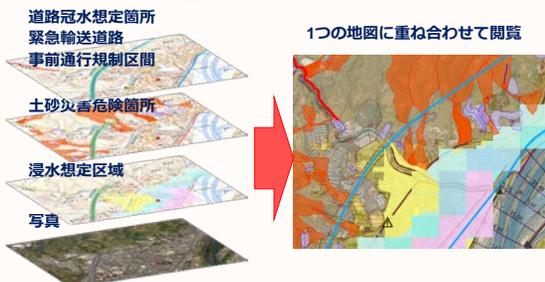
JR仙台駅より徒歩15分
仙台市営地下鉄勾当台公園駅下車
徒歩3分

◇ハザードマップポータルサイト

国土交通省では、「国土交通省ハザードポータルサイト」として、災害時の避難や、事前の防災対策に役立つ情報を公開しています

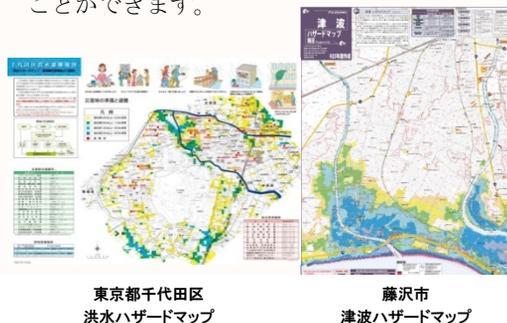
重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、全国どこでも1つの地図上で重ねて閲覧できます。



わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



ハザードマップ

検索

新規登録状況

新たに3名の方に防災エキスパートとしてご登録いただきました。
平成28年2月1日現在で、444名の方々にご登録いただいております。

(2月1日登録)

氏名	登録県	登録事務所・出張所等
渥美 雅裕	宮城	仙台河川国道事務所、岩沼出張所、名取川出張所
滝口 幸司	山形	山形河川国道事務所、新庄河川事務所、長井出張所他
宮崎 伸一郎	青森、宮城 秋田	浅瀬石川ダム管理所、仙台河川国道事務所、秋田河川国道事務所他

(敬称略：五十音順)

防災エキスパート活動報告

平常時 (H27.10月～H28.1月)

県別	活動内容	活動場所	活動年月日	出勤人数	備考
青森	河川管理検討会(第2回)	青森河川国道事務所 (八戸出張所)	平成27年10月14日	2	
	水防技術講習会	青森河川国道事務所 (八戸出張所)	平成27年11月8日	3	
	岩木川危機管理演習事前説明会	青森河川国道事務所	平成27年11月9日	1	
	岩木川危機管理演習	青森河川国道事務所	平成27年11月16日	1	
計				7	
岩手	防災エキスパート意見交換会	岩手河川国道事務所	平成27年12月10日	18	
計				18	
宮城	防災エキスパート意見交換会	東北地方整備局 (河川部)	平成27年10月3日	5	
	平成27年度 北上川下流徒歩巡視(台風期)	北上川下流河川事務所 (大崎出張所)	平成27年11月16日	1	
			平成27年11月25日	1	
		北上川下流河川事務所 (鹿島台出張所)	平成27年11月9日	1	
			平成27年11月30日	1	
		北上川下流河川事務所 (鳴瀬出張所)	平成27年10月19日	1	
			平成27年10月23日	1	
			平成27年10月27日	1	
			平成27年10月30日	1	
			平成27年11月5日	1	
		平成27年11月24日	1		
		平成27年11月27日	1		

県別	活動内容	活動場所	活動年月日	出勤人数	備考
宮城	震災復興の現地視察及び案内	震災現地案内	平成27年11月4日	1	
			平成27年11月10日	1	
	防災エキスパート意見交換会	仙台河川国道事務所	平成28年1月21日	15	
計				33	
秋田	雄物川危機管理演習事前説明会	湯沢河川国道事務所	平成27年11月13日	1	
	雄物川危機管理演習	湯沢河川国道事務所	平成27年11月27日	2	
計				3	
山形	大規模土砂災害危機管理演習事前説明会	新庄河川事務所	平成27年12月11日	2	
	大規模土砂災害危機管理演習	新庄河川事務所	平成28年1月14日	3	
計				5	
福島	防災エキスパート意見交換会	福島河川国道事務所	平成27年11月26日	15	
計				15	
平常時活動 合計 延べ				81	人・日



【青森】岩木川危機管理演習



【宮城】北上川下流徒歩巡視



【秋田】雄物川危機管理演習



【山形】土砂災害危機管理演習

「平成27年度 防災エキスパート意見交換会」

防災エキスパートの活動について、日頃からの連携強化を図る事を目的に意見交換会を行いました。

宮城

開催月日：平成27年10月13日(火)
 会場：東北地方整備局内
 出席者：整備局側 13名
 防災エキスパート 5名
 主な内容：(1)関東・東北豪雨における整備局及び防災エキスパートの対応について
 (2) H27年度 防災エキスパートの活動と今後の活用について



福島

開催月日：平成27年11月26日(木)
 会場：福島河川国道事務所
 出席者：整備局側 33名
 防災エキスパート 15名
 主な内容：(1)吾妻山火山噴火関係について
 (2)河川・砂防、道路分科会
 (3) H27年度 防災エキスパートの活動と今後の活用について



岩手

開催月日：平成27年12月10日(木)
 会場：岩手河川国道事務所
 出席者：整備局側 21名
 防災エキスパート 18名
 主な内容：(1)北上川上流総合水防演習について
 (2)出水時のタイムラインについて
 (3)仙岩道路の豪雨時の対応について及び冬期交通障害対応について
 (4) H27年度 防災エキスパートの活動と今後の活用について



宮城

開催月日：平成28年1月21日(木)
 会場：仙台河川国道事務所
 出席者：整備局側 13名
 防災エキスパート 15名
 主な内容：(1)「防災体制」「支援体制」等に関する要望等について
 (2) H27年度 防災エキスパートの活動と今後の用について



* 青森、秋田、酒田においても2月中に意見交換会が行われる予定です。

編集後記

立春を迎えたとはいえ風はまだまだ冷たく、寒さが続いております。防災エキスパートの皆さまには、今年も既に意見交換会に参加いただく等活動していただいております。今年こそは、災害の少ない年であってほしいと願いつつ、防災エキスパートの皆さまには、出動の際には安全に気をつけて活動していただきたいと思います。

防災エキスパート事務局
 (東北地域づくり協会 地域事業部 事務局)

TEL : 022-268-4611 / FAX : 022-227-6334
 E-mail : bousai@kyokai.or.jp